

ゲルニカ平和財団博物館

“回想のための、同時に未来のための博物館”

ゲルニカ平和博物館は、1937年4月26日のゲルニカ爆撃の悲劇から着想を得た、平和文化をテーマにした博物館です。ここは、戦争の歴史を敬うための空間でも絶対の真理を尊ぶための場ではありません。歴史が、感受性を使って私たちに和解への道を示そうとする舞台であり、一緒に平和に形を与えることができることを考える場所でもあります。

博物館は、品物、画像、視聴覚セクション、文書メッセージを巡りながら、様々な考えが生み出せるようになっています。博物館は、人類が長い間討論してきた論争に答えを出すことはできません。しかしながら見学者が、自ら答えを出すべき質問を生み出すための思考に火をつける導火線になることはできます。博物館は三つの大きな質問に沿って配列されています。

平和とは...

平和に関する思考、概念、見解、視点の幅広い範囲、特に平和が、人類つながりに関して前向きな好ましい方法で自ら芽生える現代思想。平和の歴史は、紛争終結の歴史であってはなりません。

「平和への道はない、平和そのものが道である」 モハンダース ガンディー (マハトマ カンジー)

ゲルニカ爆撃が私たちに残したものは...

ゲルニカ・カルモとスペイン内戦の歴史の解釈、爆撃のエピソード、攻撃者との和解をとおして、あの悲劇の生存者が教えてくれる平和の教訓、さらに世界の他の和解や平和調停。

世界平和の現状は...

人権に関してよく考えた上でピカソの“ゲルニカ”を通して世界を見ること、世界平和の現状を推しはかるプリズムとしてのバスクの紛争。

博物館が提供するもの

- ゲルニカ爆撃についての文書センター
- 学校、家族、団体のための実習室
- 四ヶ国語無料ガイド付き見学
- ショップ

その他の活動

- 非常時展示
- 会議
- 計画に基づいた映写
- 平和、ゲルニカ・カルモの歴史、スペイン内戦に関する活動

ゲルニカへの交通手段

ゲルニカはビルバオ市から 33 キロ、ビルバオ空港から 30 キロ、高速道路（アモレビエタ出口）から 14 キロ、サンセバスチャンから 105 キロ、ビトリアから 70 キロ、エンダイア（フランス）から 120 キロの距離にあります。交通手段として車あるいは電車（Eusko Trenbideak: (+34 94 625 1182)、バス (+34 94 625 5013)、タクシー(+34 94 625 1002)があります。

ゲルニカ平和財団博物館

Foru Plaza, 1（市役所前）

48300 Gernika-Lumo

電話： +34 946270213

ファックス： +34 94 6258608

電子メール：museoa@gernika-lumo.net

開館時間：

火曜日から土曜日

10.00-14.00 / 16.00-19.00

日曜日：

10.00-14.00

7月と8月の火曜日から土曜日までは、間に休憩をはさまず午前10時から午後7時まで。

日曜日は午前10時から午後2時まで。

無料ガイド付きの見学は、一年を通して個人、グループとも正午と午後5時。
事前のご予約によって他の時間にも実施いたします。（+34 946270213）

“決して忘れず、復讐もせず”